

## 正誤表

「公益社団法人日本看護科学学会の公式見解（Yaju Y & Tsubaki H, 2019 に関して）」のページにつきまして、作成時に「日本看護科学学会 科学者の行動規範」のページを複製して作成したため、一部の内容（2. 当該論文の査読プロセスの再評価について）が正しく反映されていませんでした。

ここに謹んで訂正いたします。

**（2025.10.31 公開時）**

### **2. 当該論文の査読プロセスの再評価について**

会員は、科学の自律性が社会からの信頼と付託の上に成り立つことを自覚し、常に正直、誠実に判断し、行動する。また、科学研究によって生み出される知の正確さや正当性を、科学的に示す最善の努力をすると共に、科学者コミュニティ、特に看護学領域における科学者相互の評価に積極的に参加する。

**（2025.11.05 訂正時）**

### **2. 当該論文の査読プロセスの再評価について**

本学会では査読者や編集委員を含めず、独立性と客観性を確保した特別委員会を設置し、必要な調査・検討を実施した（2019年2月）。その結果、当該論文の査読が規程に則り適正に実施されており、査読プロセスが適切に進められたことを確認した。これにより、改ざん・捏造等の明確な研究不正は認められなかった。当該論文の利益相反開示は、当時の本学会の利益相反指針およびJJNSの投稿規程に基づき、適正に行われていた。以上から、本学会が当該論文の再評価を行う必要はないと判断している。